

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【公表番号】特表2008-519722(P2008-519722A)

【公表日】平成20年6月12日(2008.6.12)

【年通号数】公開・登録公報2008-023

【出願番号】特願2007-540517(P2007-540517)

【国際特許分類】

B 6 0 B 35/14 (2006.01)

B 6 0 B 35/18 (2006.01)

F 1 6 D 3/223 (2006.01)

F 1 6 D 3/20 (2006.01)

F 1 6 D 3/227 (2006.01)

【F I】

B 6 0 B 35/14 U

B 6 0 B 35/18 A

F 1 6 D 3/223 D

F 1 6 D 3/20 K

F 1 6 D 3/227 E

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月11日(2008.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ホイールハブ・等速ジョイントユニットであって、ホイールハブ(60, 90)が、貫通開口(59, 89)を備えており、該貫通開口(59, 89)が、内側の軸歯列(44, 74)を有しており、ホイールハブ(60, 90)が、固定式等速ジョイント(42, 72)のジョイント外側部材(46, 76)に緊締されており、該ジョイント外側部材(46, 76)に、外側の軸歯列(54, 84)を備えたピン(53, 83)が一体成形されており、貫通開口(59, 89)の内側の軸歯列(44, 74)と、ピン(53, 83)の外側の軸歯列(54, 84)とが内外で係合しており、二列のホイール軸受け(43, 73)が、ホイールハブ(60, 90)に被せ嵌められており、該ホイールハブ(60, 90)が、内側の軸受けレース(64, 94)を有しており、該軸受けレース(64, 94)に、ジョイント外側部材(46, 76)の端面(52, 82)が直接支持されている形式のものにおいて、

ジョイントボールのピッチ円直径PCDと、軸受け幅 B_L とから求められる総和の半分が、等速ジョイント(42, 72)とホイール軸受け(43, 73)との間の中間間隔 A_{GL} よりも大きい、すなわち、 $(PCD + B_L) / 2 > A_{GL}$ であることを特徴とする、ホイールハブ・等速ジョイントユニット。

【請求項 2】

ホイールハブ・等速ジョイントユニットであって、ホイールハブ(60, 90)が、貫通開口(59, 89)を備えており、該貫通開口(59, 89)が、内側の軸歯列(44, 74)を有しており、ホイールハブ(60, 90)が、固定式等速ジョイント(42, 72)のジョイント外側部材(46, 76)に緊締されており、該ジョイント外側部材(

４６，７６）に、外側の軸歯列（５４，８４）を備えたピン（５３，８３）が一体成形されており、貫通開口（５９，８９）の内側の軸歯列（４４，７４）と、ピン（５３，８３）の外側の軸歯列（５４，８４）とが内外で係合しており、二列のホイール軸受け（４３，７３）が、ホイールハブ（６０，９０）に被せ嵌められており、該ホイールハブ（６０，９０）が、内側の軸受けレース（６４，９４）を有しており、該軸受けレース（６４，９４）に、ジョイント外側部材（４６，７６）の端面（５２，８２）が直接支持されている形式のものにおいて、

等速ジョイント（４２，７２）とホイール軸受け（４３，７３）との間の中間間隔 A_{GL} と、ピンベースにおけるピン直径 D_z とから求められる比が、２よりも小さい、すなわち、 $A_{GL} / D_z < 2$ であることを特徴とする、ホイールハブ・等速ジョイントユニット。

【請求項３】

ホイールハブ・等速ジョイントユニットであって、ホイールハブ（６０，９０）が、貫通開口（５９，８９）を備えており、該貫通開口（５９，８９）が、内側の軸歯列（４４，７４）を有しており、ホイールハブ（６０，９０）が、固定式等速ジョイント（４２，７２）のジョイント外側部材（４６，７６）に緊締されており、該ジョイント外側部材（４６，７６）に、外側の軸歯列（５４，８４）を備えたピン（５３，８３）が一体成形されており、貫通開口（５９，８９）の内側の軸歯列（４４，７４）と、ピン（５３，８３）の外側の軸歯列（５４，８４）とが内外で係合しており、二列のホイール軸受け（４３，７３）が、ホイールハブ（６０，９０）に被せ嵌められており、該ホイールハブ（６０，９０）が、内側の軸受けレース（６４，９４）を有しており、該軸受けレース（６４，９４）に、ジョイント外側部材（４６，７６）の端面（５２，８２）が直接支持されている形式のものにおいて、

ホイール軸受けのピッチ円直径 TKD と、ピン長さ L_z とから求められる比が、２よりも大きい、すなわち、 $TKD / L_z > 2$ であることを特徴とする、ホイールハブ・等速ジョイントユニット。

【請求項４】

ホイールハブ・等速ジョイントユニットであって、ホイールハブ（６０，９０）が、貫通開口（５９，８９）を備えており、該貫通開口（５９，８９）が、内側の軸歯列（４４，７４）を有しており、ホイールハブ（６０，９０）が、固定式等速ジョイント（４２，７２）のジョイント外側部材（４６，７６）に緊締されており、該ジョイント外側部材（４６，７６）に、外側の軸歯列（５４，８４）を備えたピン（５３，８３）が一体成形されており、貫通開口（５９，８９）の内側の軸歯列（４４，７４）と、ピン（５３，８３）の外側の軸歯列（５４，８４）とが内外で係合しており、二列のホイール軸受け（４３，７３）が、ホイールハブ（６０，９０）に被せ嵌められており、該ホイールハブ（６０，９０）が、内側の軸受けレース（６４，９４）を有しており、該軸受けレース（６４，９４）に、ジョイント外側部材（４６，７６）の端面（５２，８２）が直接支持されている形式のものにおいて、

等速ジョイント（４２，７２）とホイール軸受け（４３，７３）との間の中間間隔 A_{GL} と、ピン長さ L_z とから求められる比が、１．９５よりも大きい、すなわち、 $A_{GL} / L_z > 1.95$ であることを特徴とする、ホイールハブ・等速ジョイントユニット。